

経ヶ岬・米軍基地の騒音等の対策に関する請願書

紹介議員

印

請願の要旨

- 1 地域住民に多大な被害をもたらしている米軍基地の発電機を一旦停止すること。
- 2 京都府が行政の責務とし京丹後市と協力して発電機の騒音（とりわけ低周波）と住民への影響調査を行い、レーダー運用以前の生活環境になっているか確認すること。さらに、その情報を住民に提供すること。
- 3 軍属の住居については住民の納得を得られるすすめ方をし、当面の基地までの輸送はバス輸送とすること。
- 4 交通事故を減らすために日本での免許取得に準じた講習と検定のパスを求めること。講習受講者証等を発行し、受講者証を表示し運転するよう求めること。
- 5 事故等への初期対応の必要性から、行政として、米軍人・軍属の居住地、氏名等を防衛局等から情報収集し管理すること。

請願の理由

私たちは、米軍基地の撤去を求めています、住民の安全安心がおろそかにされており、起こっている問題への対処を求めるものです。

京丹後市・経ヶ岬の米軍基地の発電機による騒音は4ヶ月続いています。2月中旬にマフラー設置によって改善があったものの、騒音はなくなっていない。今後予定されている対策は防音壁と商用電力の利用ですが、まだ見通しが明示されておらず、相当な時間がかかることは明らかです。そのため、騒音対策が万全でない中、発電機の一旦停止を米軍に求めていただきたい。さらに、住民の安全安心に責任を持つべき京都府が京丹後市と協力し、自治体として、騒音（とりわけ低周波）の調査と住民への影響調査を行いレーダー運用以前の環境になっているか確認することが必要だと考えます。

また、軍属の一部がアパート住まいをはじめているとの情報がありますが、これは当初の約束と異なることとなる上、交通事故が多発する要因ともなります。交通事故への対処を含め、米軍が軍属の管理をきちっと行うよう求めるべきだと考えます。

平成27年 3月 3日

京都府議会議長

多賀 久雄 様

請願者 住所 京都市中京区壬生仙念町 30-2
ラボール京都5階 京都総評内
京都憲法共同センター気付
氏名 米軍基地いらない京都府民の会
事務局長